

岡安証券

= 注目・外株銘柄 =

(2025年6月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

P1【通信機器】アリスタ・ネットワークス (ANET)

P2【製薬】ファイザー (PFE)

<継続>

P3【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)

P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)

P5【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)

P6【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)

P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)

P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)

P9【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)

P10【半導体】 台湾セミコンダクターADR (TSM)

P11【半導体】 ブロードコム (AVGO)

P12【動画配信】 ネットフリックス (NFLX)

P13【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ (PLTR)

P14【データ解析】 スノーフレーク (SNOW)

P15【医療機器】 インテュイティブ・サージカル (ISRG)

P16【消費】 コストコホールセール (COST)

P17【金融】 JPモルガン・チェース (JPM)

P18【たばこ】 アルトリア・グループ (MO)

P19【電力設備】 GEベルノバ (GEV)

P20【公益】 ビストラ (VST)

(株価データ、株価指標は現地2025年5月29日現在)

<新規>

大規模データセンター用ネットワーク機器世界大手
コスト削減計画を推進中の米製薬大手

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体 (GPU) 開発企業
ソフトウェア世界最大手

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車 (EV) 大手

半導体受託製造の世界最大手

企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手

動画配信の世界最大手

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
ビッグデータ保管・分析ツールを開発

外科手術ロボット「ダビンチ」を開発・製造

会員制量販店の最大手

総合金融サービス最大手

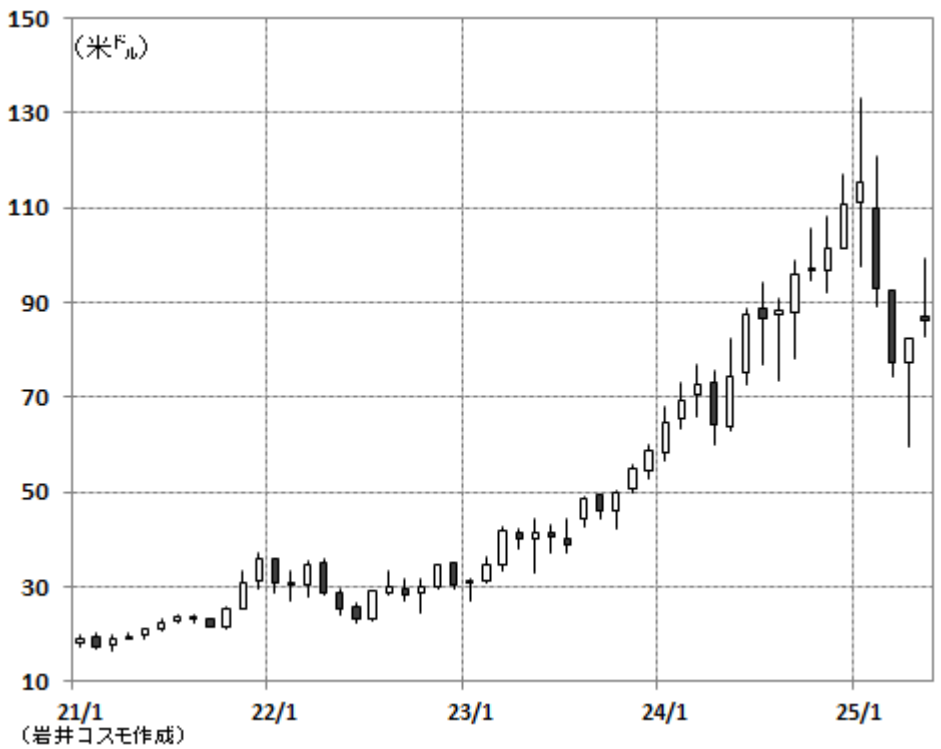
米国たばこ大手、配当による株主還元を重視

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌
GEから分離した電力設備の世界大手

データセンター用ネットワーク機器大手。クラウド化の恩恵享受

会社概要
2004年創業のネットワーク機器メーカーで、2024年にデータセンター用スイッチ市場でシェアトップとなった。大手インターネット企業やクラウドサービス提供会社に高速通信可能なスイッチ製品等を提供、主要顧客のマイクロソフトをはじめ、メタ(旧フェイスブック)、アマゾン、アルファベットなどの大手インターネット企業が利用。24年末の顧客企業数は世界各地で1万社超を数える。本社はカリフォルニア州、従業員数は約4,412人(24年末)。

- 注目ポイント**
- 主力はスイッチ製品、データセンターの拡大と共に成長：主力製品のスイッチはネットワークを構築するハブ(集線装置)となるもの。多数のコンピュータからデータ伝送処理を効率良く行う役割でデータセンター機能の一翼を担う。ユーザー汎用性/オープン性を高め、データセンターの広がりと共に成長、AI専用でも高速化に対応して市場シェアを獲得した。
 - 潜在成長規模700億ドル：28年の潜在成長余地を24年売上高70億ドルの10倍の700億ドルと試算、データセンターやクラウド用製品の他、小型通信機器、関連ソフトやセキュリティの各分野の市場拡大を見込む。2023-26年に年平均10%台半ばの売上成長目標を掲示。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	86.37 (05/29)
52週高値(日付)	133.04 (25/01/24)
52週安値(日付)	59.51 (25/04/07)
時 価 総 額	1,085億ドル 15兆6,430億円
株価変化率(%)	-14.9 (過去6ヶ月間) 12.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	37.4 (倍)
株価売上高比率	14.6 (倍)
PBR	10.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.7 (%)
株式ベータ	1.73 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	5,860	34	2,257	48	2,087	54	1.65	0.00
2024/12	7,003	20	2,945	30	2,852	37	2.23	0.00
四半期業績								
2024/Q1	1,571	—	660	—	638	—	0.50	0.00
2025/Q1	2,005	28	859	30	814	28	0.64	0.00

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、コスト削減計画を推進中

会 社 概 要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルスケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シ-ジェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約81,000名(24年末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

□コスト削減計画推進中： 25年4月末時点で新薬開発プロジェクトは108を数える。25年は引き続きコロナ以外の収益性向上を目指す。今年度までに累計約45億ドルのコスト削減目標を掲げており、さらに27年末までにITシステム刷新や製造最適化・生産性向上(第1段階)を通じて12億、15億ドルを経費削減する計画。

□配当維持・増加分針： 関税の影響等は示さず、今期の売上高は前期比4%減～1%増の610億-640億ドル、調整後1株利益は2.80～3.00(前年3.11)ドルと前回から据え置き。資本配分上の配当維持又は増加の方針を確認、営業利益率の向上等に努めるとした。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	23.45 (05/29)
52週高値(日付)	31.535 (24/07/30)
52週安値(日付)	20.915 (25/04/09)
時 価 総 額	1,333億 ^{ドル} 19兆2,263億円
株価変化率(%)	-10.5 (過去6ヶ月間) -15.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	9.6 (倍)
株価売上高比率	2.1 (倍)
PBR	1.5 (倍)
税前配当利回り(%)	7.33 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	0.54 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税前列益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	59,553	-41	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65
2024/12	63,627	7	8,023	658	8,031	279	1.41	1.69

四半期業績								
2024/Q1	14,879	—	3,421	—	3,115	—	0.55	0.42
2025/Q1	13,715	-8	2,785	-19	2,967	-5	0.52	0.43

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

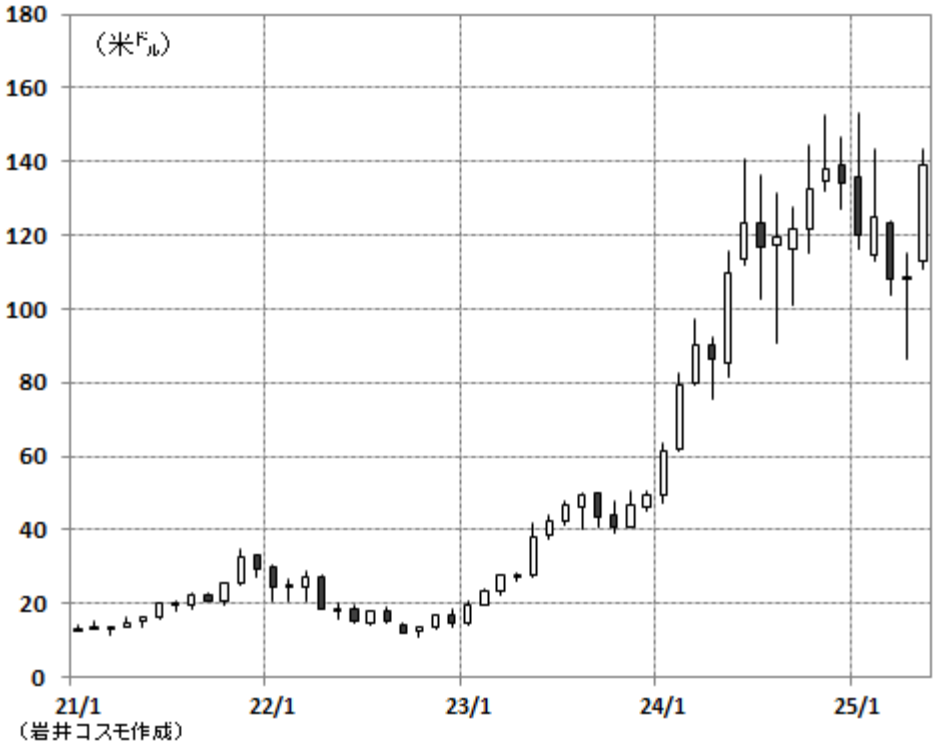
会 社 概 要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

注 目 ポ イ ン ト

□**AI半導体で主導権**：AIの計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発する。2-4月期は最新GPUブラックウェルを240億ドル売り上げた。量産化に伴う粗利益率の改善見通しが好感され、対中国規制懸念が払拭された。

□**技術者会議で2028年までの計画示す**：3月開催のGTC(技術者会議)では、28年までのGPUや関連製品の投入計画を公表。GMとの自動運転技術の提携強化のほか、ロボット開発のソフトウェア技術提供でアルファベット傘下のAI企業ディープマインドやディズニ-と協業する。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	139.19 (05/29)
52週高値(日付)	153.13 (25/01/07)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時 価 総 額	3兆3,962億 ^{ドル} 489兆7712億円
株価変化率(%)	0.7 (過去6ヶ月間) 21.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	44.7 (倍)
株価売上高比率	23.0 (倍)
PBR	40.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	150.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	115.5 (%)
株式ベータ	1.89 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
四半期業績								
2025/Q1	26,044	—	16,909	—	14,881	—	0.60	0.004
2026/Q1	44,062	69	21,638	28	18,775	26	0.76	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社 名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

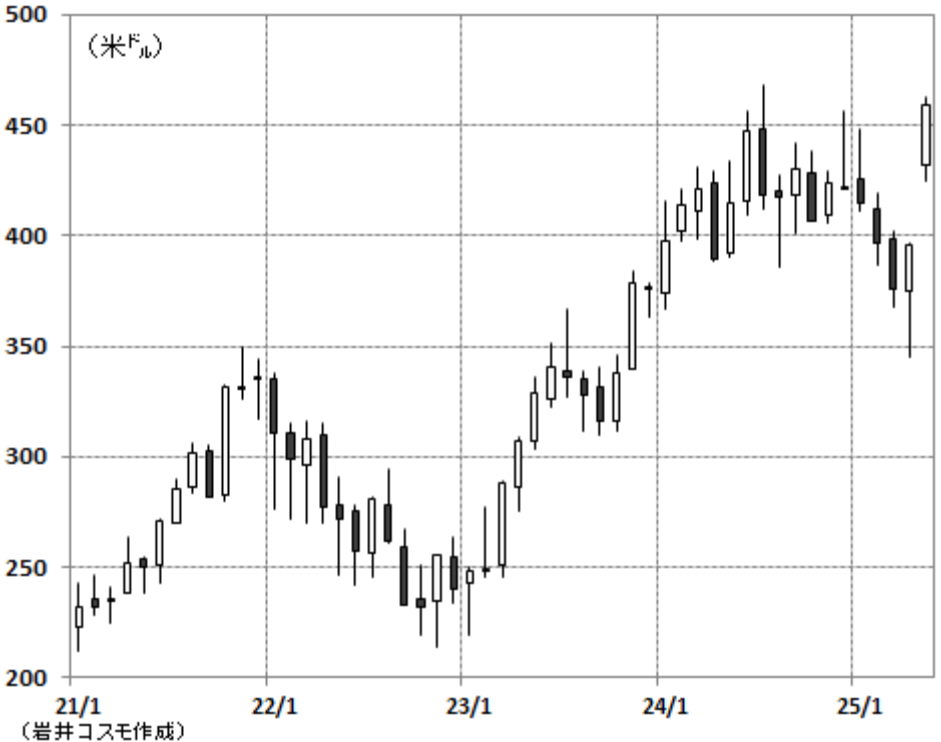
会 社 概 要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注 目 ポ イ ン ト

□**クラウド事業の拡大が奏功**:マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役となっている。

□**サポート生成AIが実装・収益貢献**:23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。1-3月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸び(除く・為替変動)は、AI用データセンター拡充に伴って前年同期比35%増と高成長。巨額投資を行いながら、今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込む。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	458.68 (05/29)
52週高値(日付)	468.33 (24/07/05)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時 価 総 額	3兆4,092億 ^{ドル} 491兆6349億円
株価変化率(%)	8.3 (過去6ヶ月間) 6.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.4 (倍)
株価売上高比率	12.6 (倍)
PBR	10.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.72 (直近年率)
配当成長率(%)	10.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.6 (%)
株式ベータ	1.01 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績

2024/Q3	61,858	—	27,581	—	21,939	—	2.94	0.75
2025/Q3	70,066	13	32,000	16	25,824	18	3.46	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社 名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

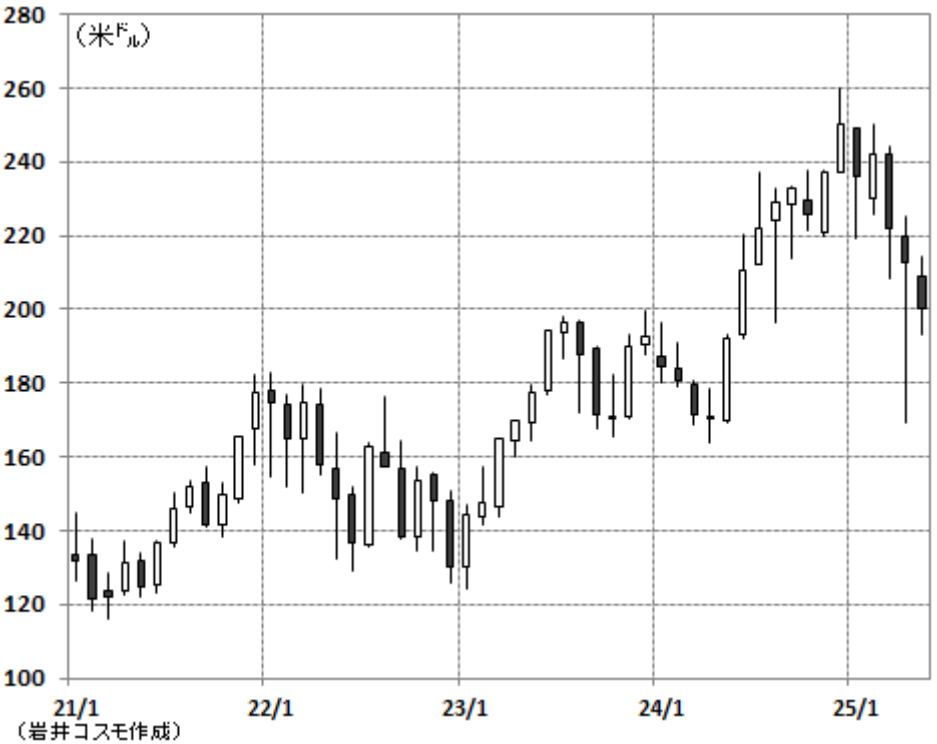
会 社 概 要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□ **アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を4月1日より提供開始した。ただより高度な分析機能は米国でも未提供で競合のオープンAIやグーグルに後れを取っている。優位性が失われない様に6月開催の年次開発者会議の発表ではAI機能の巻き返しに期待。

□ **関税影響続く**: 1-3月期のアイフォン販売は2%増と駆け込み需要は見られず、今後製造を中国からインドへ本格移行する。4-6月期の関税コストは9億ドルと試算。トランプ政権は4月半ばにスマホ等の電子関連製品を相互関税の対象から一時除外すると発表も、5月23日に国外製品に25%関税を課す可能性に言及し、視界不良が続く。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	199.95 (05/29)
52週高値(日付)	260.09 (24/12/26)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時 価 総 額	2兆9,864億 ^{ドル} 430兆6714億円
株価変化率(%)	-15.8 (過去6ヶ月間) 5.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.2 (倍)
株価売上高比率	7.6 (倍)
PBR	44.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.52 (直近年率)
配当成長率(%)	4.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	138.0 (%)
株式ベータ	1.06 (対S&P500)

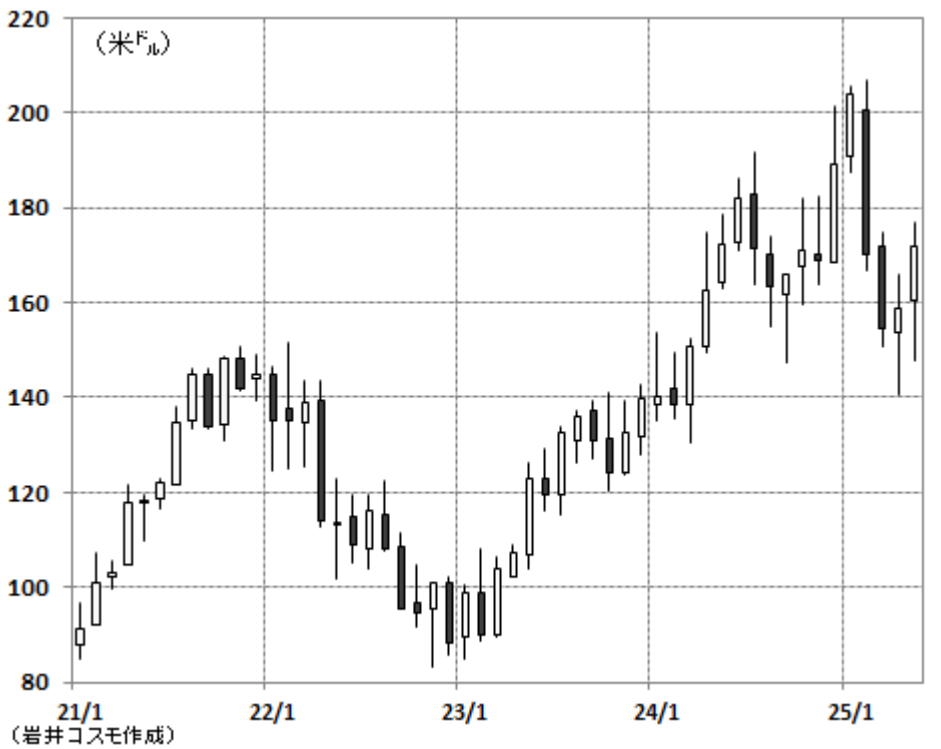
通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.94
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
四半期業績								
2024/Q2	90,753	—	27,900	—	23,636	—	1.53	0.24
2025/Q2	95,359	5	29,589	6	24,780	5	1.65	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要
ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は185,719人(25年3月末)。

- 注目ポイント**
- 複数のAI製品を積極展開**: 検索のAIによる返答機能「AIオーバービュー」は月間15億人が利用、生成AIは「ジェミニ2.5」を3月に提供開始、スマホやクラウド製品に実装が進む。サブスク課金事業はYouTube有料会費やデータ保存サービスの有償契約数が2.7億件に達した。無人ロボタクシーのウェイモの有料乗客回数は1年前比5倍の週25万回以上に上った。5月の開発者会議では米国向けにネット検索のAIモード(会話形式)版を提供すると発表、AI新興企業に対抗する。
 - 独禁当局と係争中、事業分離を提案**: 米司法省とは独禁法違反の是正策としてウェブ閲覧ソフト「クロム」事業の売却を求めて係争中だが、2025年夏には判決が出る予定である。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60
四半期業績								
2024/Q1	80,539	—	25,472	—	23,662	—	1.89	0.00
2025/Q1	90,234	12	30,606	20	34,540	46	2.81	0.20

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	171.86 (05/29)	実績PER	20.8 (倍)
52週高値 (日付)	207.05 (25/02/04)	株価売上高比率	5.9 (倍)
52週安値 (日付)	140.53 (25/04/07)	PBR	6.1 (倍)
時 価 総 額	2兆0,920億ドル 301兆6869億円	税前配当利回り (%)	0.49 (直近年率)
株価変化率 (%)	1.7 (過去6ヶ月間) -2.3 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	34.8 (%)
		株式ベータ	1.02 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

社 名 (ティッカー)

アマゾン・ドット・コム(AMZN)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

インターネット小売

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

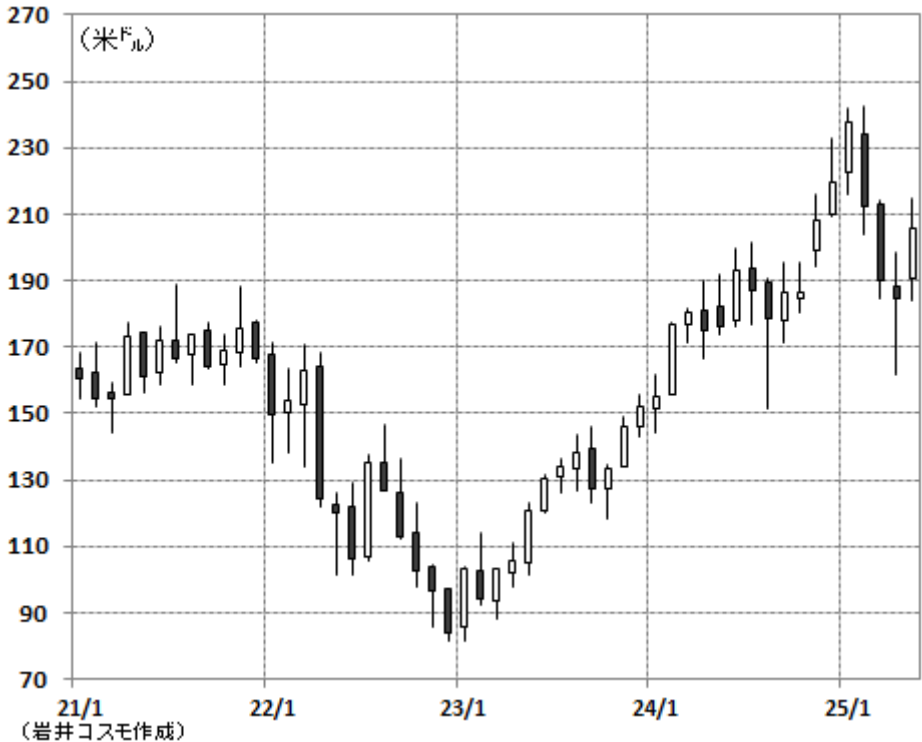
会 社 概 要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□増収増益決算続く：1-3月決算は前年同期比64%最終増益の着地。企業のAI利用が進むAWS(クラウド)事業は17%増収、営業利益率は39.5%は過去最高を記録した。小売事業はロボットを導入を図った配送効率の改善が持続、関税強化前の仕入れ急増に対応した。高採算の広告事業の拡大も増益要因だが、アマゾンを使う販売業者の支出増ペースが鈍化傾向にある。

□内製半導体で低コスト化：2015年にイスラエルの半導体企業アナプナ・ラプスを買収、AI計算に外部調達のGPU以外に複数の内製化したカスタム半導体を多く使用しデータセンター運用の低コスト化に貢献。生成AIの学習や通信機器・記憶装置の高速化を担う半導体まで開発。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	205.7 (05/29)
52週高値(日付)	242.51 (25/02/04)
52週安値(日付)	151.61 (24/08/05)
時 価 総 額	2兆1,838億ドル 314兆9234億円
株価変化率(%)	-1.1 (過去6ヶ月間) 13.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.8 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	7.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	25.2 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
四半期業績								
2024/Q1	143,313	—	15,307	—	10,431	—	0.98	0.00
2025/Q1	155,667	9	18,405	20	17,127	64	1.59	0.00

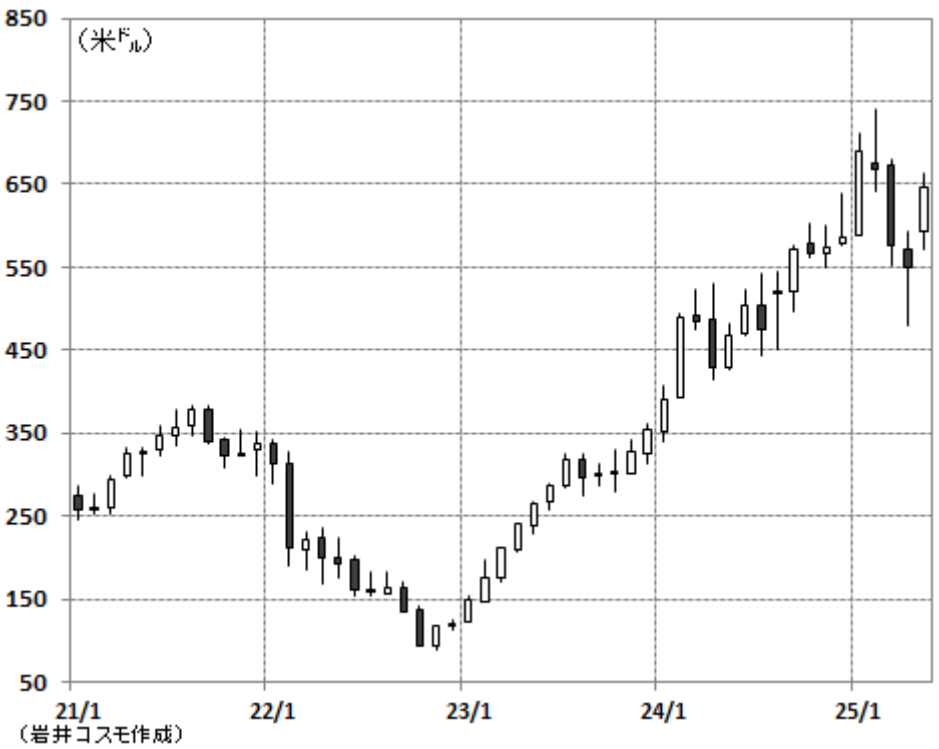
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagramなども含む)は全世界で34.3億人(25年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は76,834人(25年3月末時点)。

- 注目ポイント**
- 広告収入の好調維持:** 1-3月期の前年同期比・増収率は+16%と堅調維持。InstagramやFB内の短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。大規模言語モデル技術をSNSコンテンツの推奨機能に応用して視聴時間の増加に結び付けている。SNS上ではAIアシスタント「メタAI」が米国中心に展開され、音声対話・画像対応が強化された。
 - TikTokとの競争:** 30歳未満の若者に人気のあるInstagramと中国バイトダンス傘下の短編動画中心のSNS、TikTokと長年のライバル。視聴時間を奪い合う関係であり、搭載機能でも争い合っている。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	645.05 (05/29)	実績PER	25.1 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値 (日付)	740.87 (25/02/14)	株価売上高比率	9.6 (倍)	2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
52週安値 (日付)	442.7 (24/07/25)	PBR	8.8 (倍)	2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	2.00
時 価 総 額	1兆6,219億 ^{ドル}	税前配当利回り(%)	0.33 (直近年率)	四半期業績								
	233兆8894億円	配当成長率(%)	305.0 (過去1年間)	2024/Q1	36,455	—	13,818	—	12,369	—	4.71	0.50
株価変化率 (%)	12.3 (過去6ヶ月間)	株主資本利益率(ROE)	39.8 (%)	2025/Q1	42,314	16	17,555	27	16,644	35	6.43	0.525
	36.0 (過去1年間)	株式ベータ	1.20 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

会 社 概 要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。24年のEV納車台数は前期比1%減の179万台。CEOのイーロン・マスク氏はトランプ大統領と関係性が深く、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種指数採用銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**マスク氏企業経営に専念**:マスク氏の政治上の極端な発言によるイメージ悪化や競争激化等を背景にEV販売等が低迷した。一方、米国など中心に展開する監視型FSD(半自動運転機能)サービスは、中国でも導入開始された。マスク氏は5月以降、DOGE(政府効率化省)業務を減らし、企業経営に専念、5年後もテスラのCEOでいる見通しを示した。

□**自動運転車は6月末に開始**:テキサス州オースティンでの無人完全自動運転車(ロボタクシー)試験走行は6月末までに10台で開始、数ヶ月1000台程度まで拡大する予定。ほか次世代の低価格量産車は6月に生産開始。関税の悪影響は自動車は他社に比べて少なく有利ながら、LFP電池を中国から調達、太陽光・蓄電池事業への影響が大きいとした。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	358.43 (05/29)
52週高値(日付)	488.5 (24/12/18)
52週安値(日付)	167.42 (24/06/11)
時 価 総 額	11,545億ドル 166兆4886億円
株価変化率(%)	3.8 (過去6ヶ月間) 103.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	177.1 (倍)
株価売上高比率	12.0 (倍)
PBR	15.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.2 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
四半期業績								
2024/Q1	21,301	—	1,171	—	1,390	—	0.41	0.00
2025/Q1	19,335	-9	399	-66	409	-71	0.12	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

台湾セミコンダクターADR(TSM)

ニューヨーク

半導体受託製造

世界最大の半導体受託製造企業、先端半導体に強く、AI向けで高いシェア

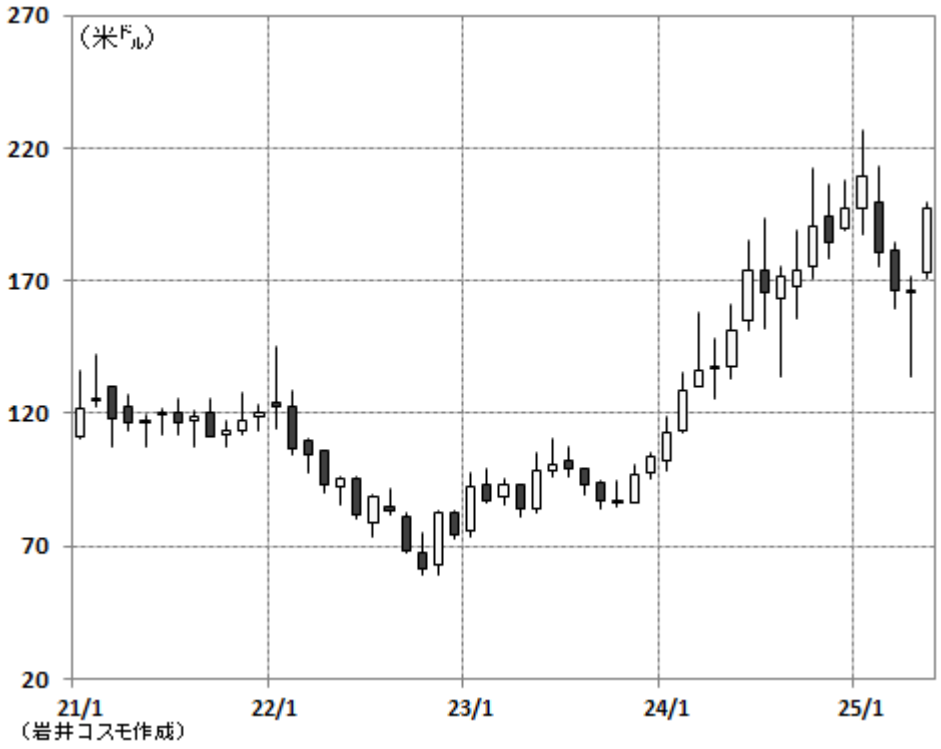
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2024年には522の顧客企業を対象に11,878個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□**先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエヌビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで6割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□**貿易戦争懸念でも堅調見通し**：1-3月期業績報告時に25年度増収率「20%台半ば」と、380億～420億ドルの設備投資計画を踏襲。米中貿易戦争による様々な影響を乗り切れると自信を示した。先端半導体を中心に需要は引き続き堅調であると強調した。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	197.15 (05/29)	実績PER	23.2 (倍)	決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
52週高値 (日付)	226.4 (25/01/24)	株価売上高比率	9.7 (倍)	2023/12	2,161,736	—	921,466	—	851,740	—	164.24	57.50
52週安値 (日付)	134.2 (24/08/05)	PBR	6.7 (倍)	2024/12	2,894,308	34	1,322,053	43	1,158,380	40	223.37	75.00
時 価 総 額	10,225億ドル 147兆4587億円	税前配当利回り(%)	1.67 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	6.8 (過去6ヶ月間)	配当成長率(%)	26.8 (過去1年間)	2024/Q1	592,644	—	249,018	—	225,485	—	43.50	17.50
	27.7 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	31.9 (%)	2025/Q1	839,254	42	407,081	63	361,564	60	69.70	22.50
		株式ベータ	1.40 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

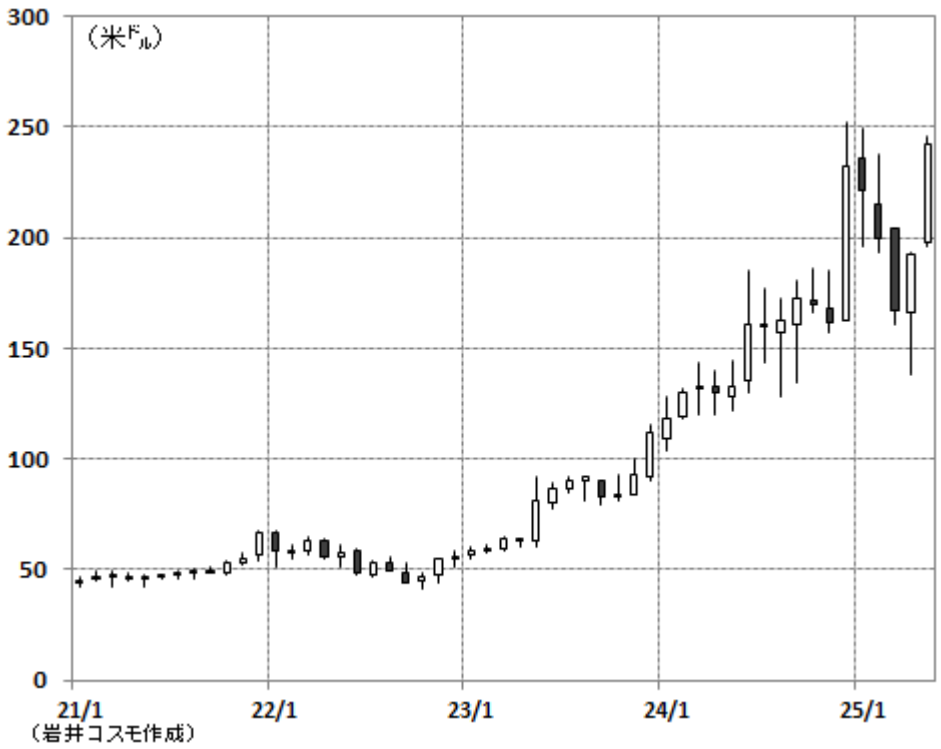
通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

- カスタム半導体等のAI半導体を供給**：巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC (特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。
- AI半導体の顧客増加で業界優位に**：カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は11-1月に前年同期比77%増の41億ドル、2-4月も同44%増の44億ドルを見込む。XPUの顧客はIT大手3社の他に4社が加わり、27年度の関連市場規模予測600億～900億ドルがさらに上振れする可能性を滲ませ、AI半導体でエスビティアに次ぐ規模に成長するとの見方が広がった。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	241.97 (05/29)	実績PER	71.7 (倍)
52週高値 (日付)	251.87 (24/12/16)	株価売上高比率	20.7 (倍)
52週安値 (日付)	128.5 (24/08/05)	PBR	16.3 (倍)
時 価 総 額	11,377億ドル 1,64兆0,721億円	税前配当利回り (%)	0.98 (直近年率)
株価変化率 (%)	49.3 (過去6ヶ月間) 74.0 (過去1年間)	配当成長率 (%)	13.5 (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	14.4 (%)
		株式ベータ	1.92 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23

四半期業績							
2024/Q1	11,961	—	2,083	—	1,325	—	0.28
2025/Q1	14,916	25	6,260	3.0倍	5,503	4.2倍	1.14

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

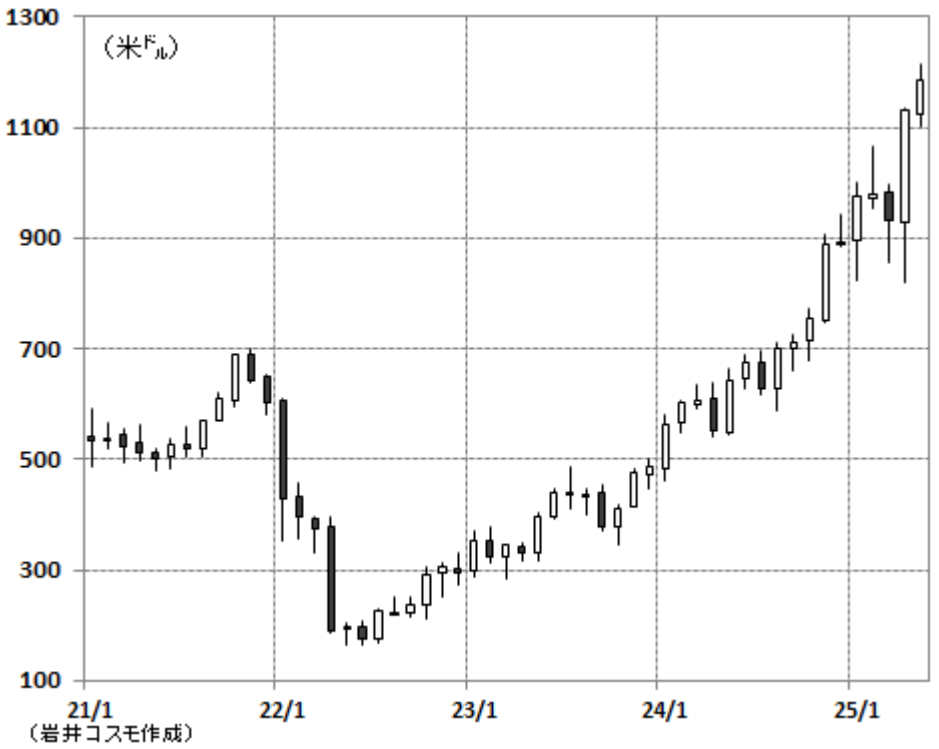
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注目ポイント

□ **時価総額1兆ドル目指す**：3月の年次経営会議で2030年までに時価総額1兆ドルを達成し、売上高を2倍にすることを目標に掲げたと報じられた。30年までに通期売上高を24年の390億ドルから倍増させ、うち広告収入は約90億ドルに拡大させるという。25年1-3月期は収益性改善を伴い2桁増収・増益。会員数の増加や値上げが寄与した。25年通期見通しは、会員の堅調な伸びや広告収入の倍増等を前提に売上高を435億-445億ドルを維持した。

□ **インドへの投資を拡大**：Netflixの25年コンテンツ予算は前年比6%増の180億ドル、会員維持や新規獲得のため、スポーツの生配信や巨大市場インドへの投資拡大などにも資金が投じられる見込み。

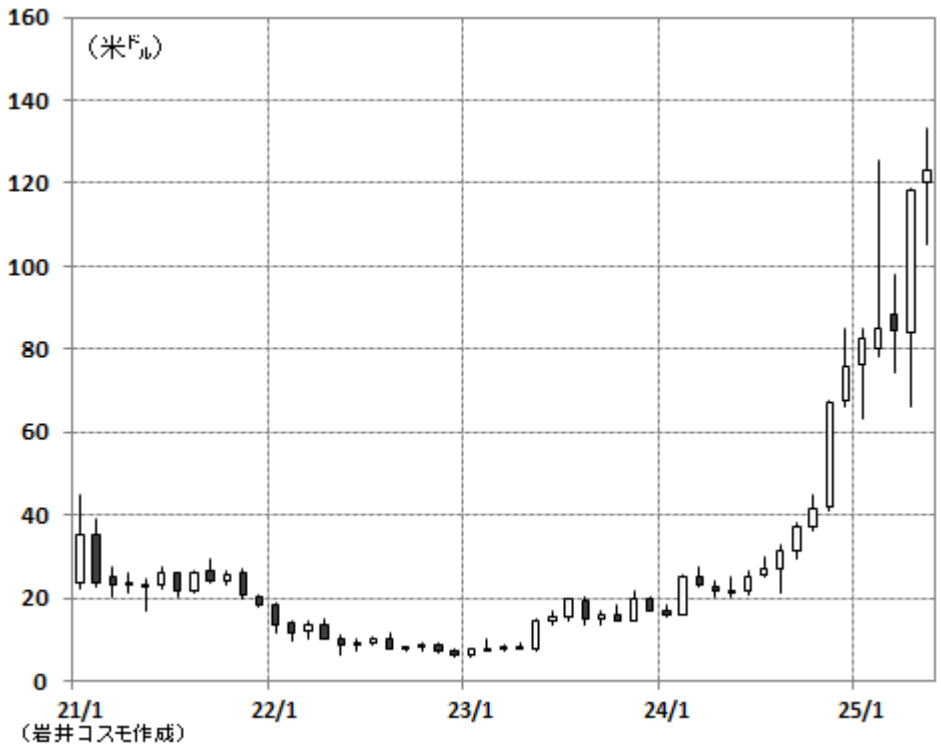


株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)								
通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83	0.00
四半期業績								
2024/Q1	9,370	—	2,633	—	2,332	—	5.28	0.00
2025/Q1	10,543	13	3,347	27	2,890	24	6.61	0.00

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	1184.86 (05/29)	実績PER	55.8 (倍)
52週高値 (日付)	1215.03 (25/05/28)	株価売上高比率	12.6 (倍)
52週安値 (日付)	588.43 (24/08/05)	PBR	21.0 (倍)
時 価 総 額	5,042億ドル 72兆7,168億円	税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	33.6 (過去6ヶ月間) 81.0 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	40.8 (%)
		株式ベータ	1.14 (対S&P500)

会社概要
データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント
□ **祖業はテロ対策**：2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近では生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウントリ」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で世界の約90の業界で導入が進む。
□ **高成長要因**：25年3月の政府・民間顧客数は前年比約4割増の769と急増中。飛躍の要因は、各地の紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービス需要の拡大など。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19	0.00
四半期業績								
2024/Q1	634	—	81	—	106	—	0.04	0.00
2025/Q1	884	39	176	118	214	103	0.08	0.00

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	122.32 (05/29)	実績PER	519.1 (倍)
52週高値 (日付)	133.49 (25/05/14)	株価売上高比率	89.8 (倍)
52週安値 (日付)	20.64 (24/05/29)	PBR	53.2 (倍)
時 価 総 額	2,887億ドル 41兆6,283億円	税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	82.3 (過去6ヶ月間) 484.1 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	12.4 (%)
		株式ベータ	2.05 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

ビッグデータを保管・分析、顧客企業がAI利用を活発化、恩恵享受へ

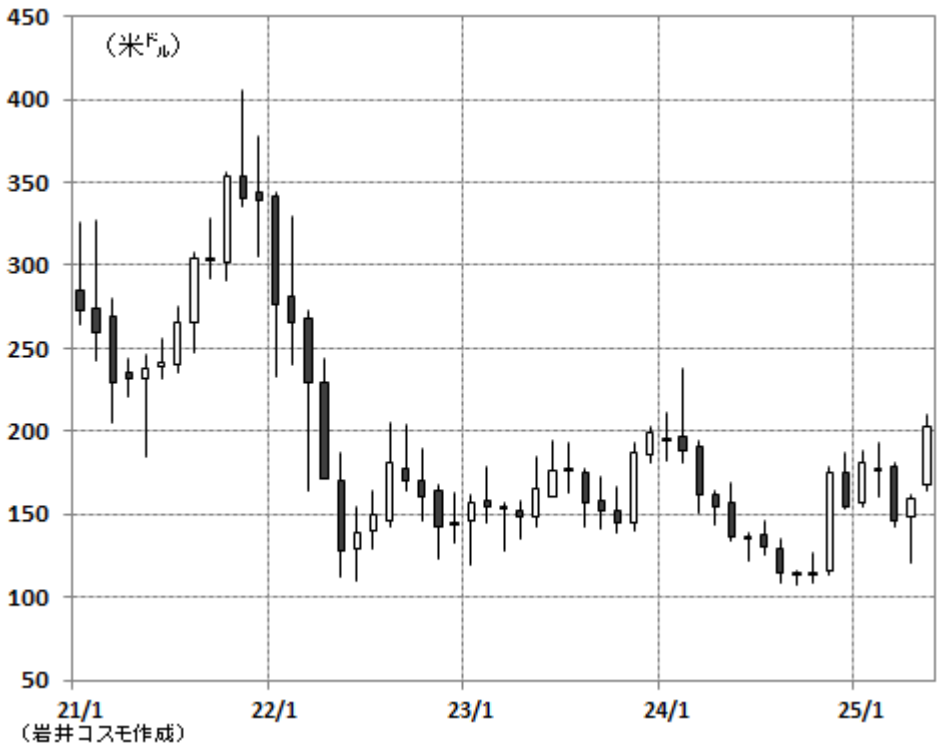
会社概要

2012年創業のソフトウェア開発企業、データ保管・分析ツールを大企業中心に提供する。主力製品にはデータ分析・処理の高速化を実現する「データウェアハウス」、データアクセスやセキュリティの改善を支援する「データレイク」、データ集約型アプリの開発を簡素化する「データエンジニアリング」などを取り揃える。本社はモンタナ州ボーズマン、25年4月末の顧客数は11,578社。2020年9月にニューヨーク市場に上場。

注目ポイント

顧客企業がAI利用を活発化、恩恵享受：スノーフレークは顧客企業の製品上の取扱いデータ使用量に基づく料金体系を採用する。23年以降、顧客企業がAI利用を活発化、25年4月期のAI・機会学習機能の利用顧客数は週間5,200社を超えた。今後、データ使用量が増えるにつれ、1社当りの収入増が期待される。AI対応製品の米食品・飲料大手の全面採用が紹介されたほか、公的機関向けにAI対応製品の販売体制が整ったことが報告された。

見通し堅調：今期の製品売上高を前期比25%増の43.25億ドルと従来から上方修正。6月上旬に自社主催PRイベントを開催する。



株価チャート (2021年以降・月足)

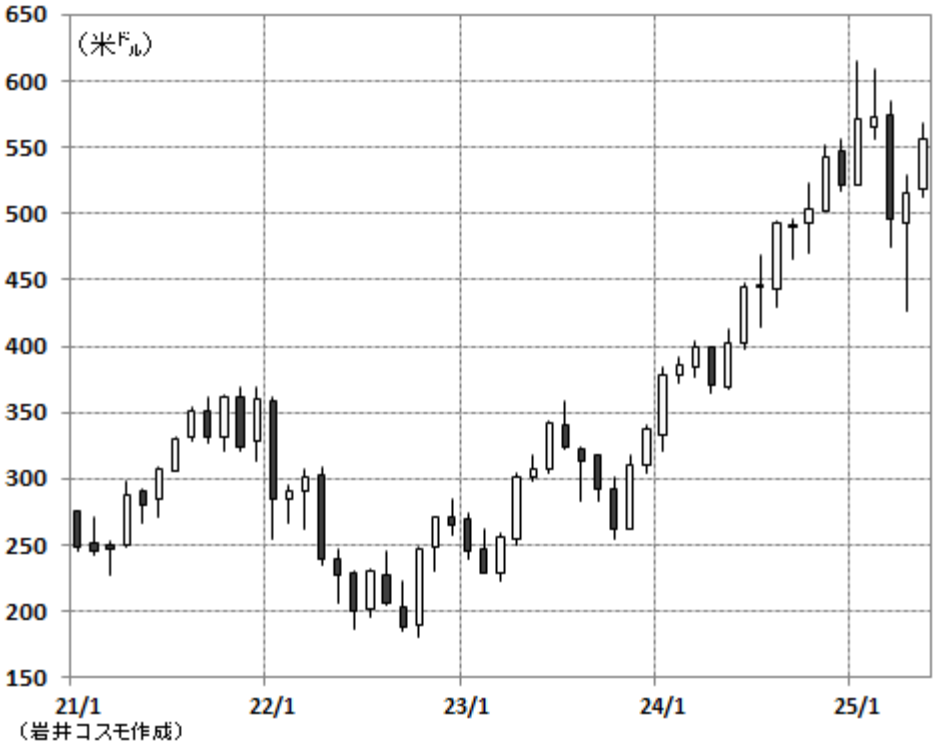
株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	202.31 (05/29)	実績PER	— (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	209.55 (25/05/28)	株価売上高比率	17.5 (倍)	2024/01	2,806	36	-1,095	赤継	-836	赤継	-2.55	0.00
52週安値 (日付)	107.13 (24/09/06)	PBR	28.0 (倍)	2025/01	3,626	29	-1,456	赤継	-1,286	赤継	-3.86	0.00
時 価 総 額	675億 ^{ドル} 9兆7,345億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	— (過去1年間)	2025/Q1	829	—	-349	—	-317	—	-0.95	0.00
株価変化率(%)	15.7 (過去6ヶ月間) 36.5 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	-40.2 (%)	2026/Q1	1,042	26	-447	赤継	-430	赤継	-1.29	0.00
		株式ベータ	1.31 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。24年度の全世界の手術件数実績は約268万件。25年3月末の稼動状況は全世界で10,189台。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約700台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

- 注目ポイント**
- **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。
 - **関税の影響**: 上海に合弁工場、メキシコに器具・周辺機器の自社工場があり、メキシコ製品のほとんどが非関税対象とした。関税の影響で25年粗利益率見通しを引き下げた一方、ダ・ビンチ手術件数の伸びを前年比15～17%増(従来13～16%増)に引き上げた。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	555.75 (05/29)	実績PER	88.4 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値(日付)	615.315 (25/01/23)	株価売上高比率	22.7 (倍)	2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00
52週安値(日付)	396.59 (24/05/29)	PBR	11.6 (倍)	2024/12	8,352	17	2,349	33	2,323	29	6.42	0.00
時 価 総 額	1,992億 ^{ドル} 28兆7,253億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	— (過去1年間)	2024/Q1	1,891	—	469	—	545	—	1.51	0.00
株価変化率(%)	2.5 (過去6ヶ月間) 39.5 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	15.9 (%)	2025/Q1	2,253	19	578	23	698	28	1.92	0.00
		株式ベータ	1.20 (対S&P500)									

有料会員制の大型量販店最大手。生活防衛ニーズを掴み、堅実成長が継続

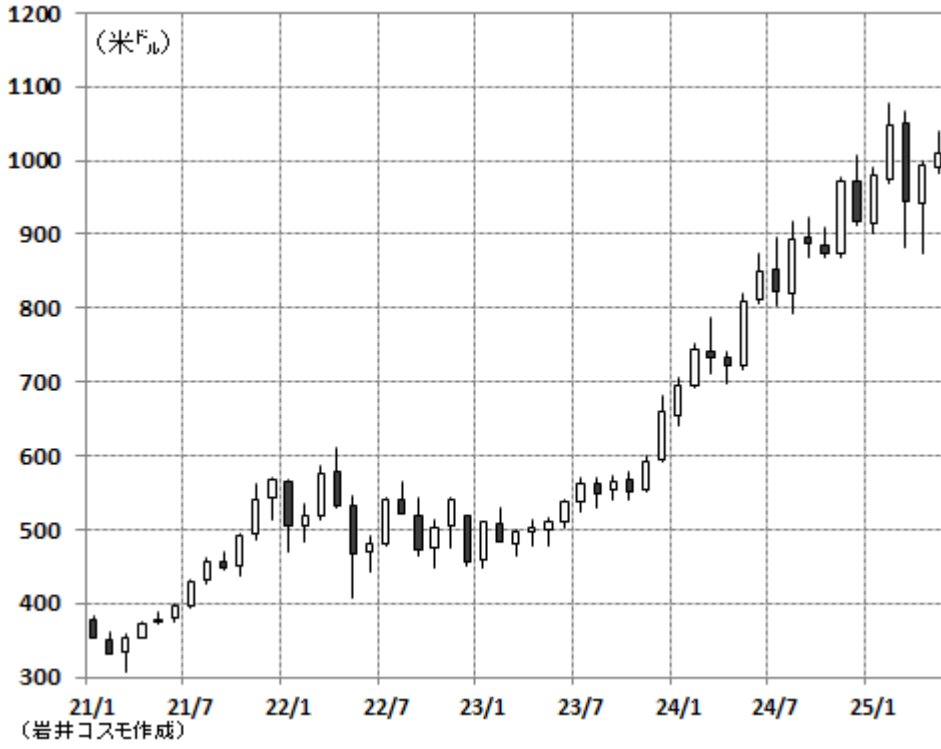
会社概要

有料会員制の大型ディスカウント店の最大手。米小売業の世界売上規模でウォル-Mart、アマゾンに次ぐ3位。米国、カナダ、日本、中国など15カ国で倉庫型の量販店905店を展開(25年5月時点)。1976年にカリフォルニア州サンディエゴの飛行機格納庫を改造した倉庫店舗が発祥、日本進出は1999年に福岡に第1号店を出店、2010年代後半以降に出店を加速、北海道から沖縄まで現在37店舗を展開。

注目ポイント

□**会員制によるリピート消費が好調**：中高所得層や卸売業者が主要顧客層で「徹底した経費節減による会員への価格還元」が企業哲学。店舗の特徴は、①コストを抑えた倉庫型大型店舗で商品陳列・在庫管理費用を圧縮、②会員特典・割引で堅固な顧客基盤を構築(年会費更新率9割超)、③購買力を活かした低価格実現など。

□**ガソリンスタンド併設も魅力**：2010年代後半以降はネット通販も強化する一方、コストコは格安のガソリンスタンドを併設しており車社会の米国でアマゾンの影響を受けにくい競争力も確保。節約志向の強まりを背景に効率的なショッピング体験も人気化、米国内外ともに客単価よりも来店客数が伸び、既存店売上の堅実な成長が続いている。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

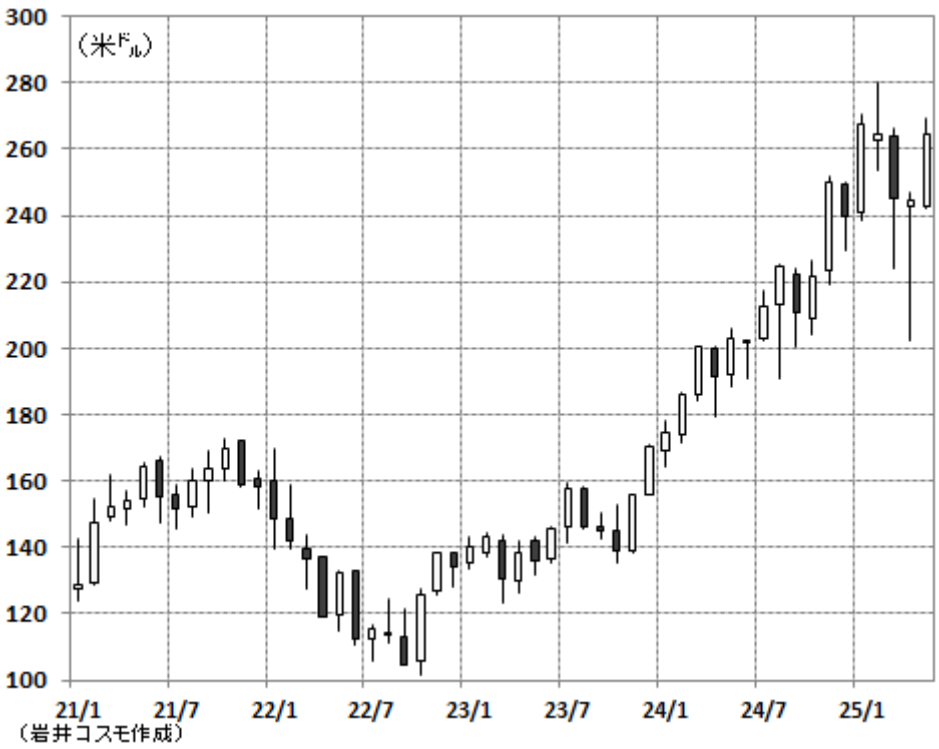
株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	1008.74 (05/29)	実績PER	57.1 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値(日付)	1078.01 (25/02/13)	株価売上高比率	1.7 (倍)	2023/08	242,290	7	8,114	23	6,292	8	14.16	3.84
52週安値(日付)	788.35 (24/05/31)	PBR	17.5 (倍)	2024/08	254,453	5	9,285	14	7,367	17	16.56	19.36
時 価 総 額	4,476億 ^{ドル} 64兆5,428億円	税前配当利回り(%)	0.52 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	-75.1 (過去1年間)	2024/Q3	58,515	—	2,197	—	1,681	—	3.78	1.160
株価変化率(%)	3.8 (過去6ヶ月間) 25.1 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)	2025/Q3	63,205	8	2,530	15	1,903	13	4.28	1.300
		株式ベータ	0.78 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

会社概要

世界有数のグローバル総合金融グループ。投資銀行、証券取引、資金決済、資産運用、プライベートバンキング、商業銀行等の各種サービスを提供。機関投資家向け事業を「JPモルガン」ブランドで、中小企業・個人向け事業を「チェース」ブランドで展開する。総資産、収益力、時価総額で世界屈指の規模を誇る。本社はニューヨーク市、従業員数は318,477人(25年3月末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

- 注目ポイント**
- 業界で一早くAIを活用：同行はAIを業界内で一早く取り入れ、業務効率の向上、リスク管理の強化、顧客体験の改善等を通じて最終的にROEなどの資本効率の高さに貢献していると見られる。具体例に法的文書の分析自動化ツールによる費用削減や決済システム上の異常取引の感知、迅速な回答が可能なコールセンター運営等がある。
 - 投資家向け説明会開催：5月に投資家説明会では25年度の純金利収入見込みを前期比2%増の945億ドルで据え置いたものの、10億ドル増える可能性を示した。今期のテクノロジー関連費用は180億ドル(全体費用は950億ドル)に及ぶ見込みだが、効率性の恩恵を享受できるほか、AIによる価値向上がもたらされるとの見方を示した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	264.37 (05/29)	実績PER	12.8 (倍)
52週高値 (日付)	280.25 (25/02/19)	株価売上高比率	2.7 (倍)
52週安値 (日付)	190.91 (24/06/13)	PBR	2.2 (倍)
時 価 総 額	7,347億 ^{ドル} 1,059,524億円	税前配当利回り (%)	2.12 (直近年率)
株価変化率 (%)	5.9 (過去6ヶ月間) 33.4 (過去1年間)	配当成長率 (%)	18.8 (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	18.3 (%)
		株式ベータ	1.10 (対S&P500)

通期業績							
決算期	純営業収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	158,104	23	61,612	33	47,760	33	16.23
2024/12	177,556	12	75,081	22	56,868	19	19.75
							4.05
							4.60
四半期業績							
2024/Q1	41,934	—	17,293	—	12,942	—	4.44
2025/Q1	45,310	8	18,408	6	14,317	11	5.07
							1.15
							1.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

米国たばこ大手、配当重視の株主還元、代表的な高配当利回り銘柄

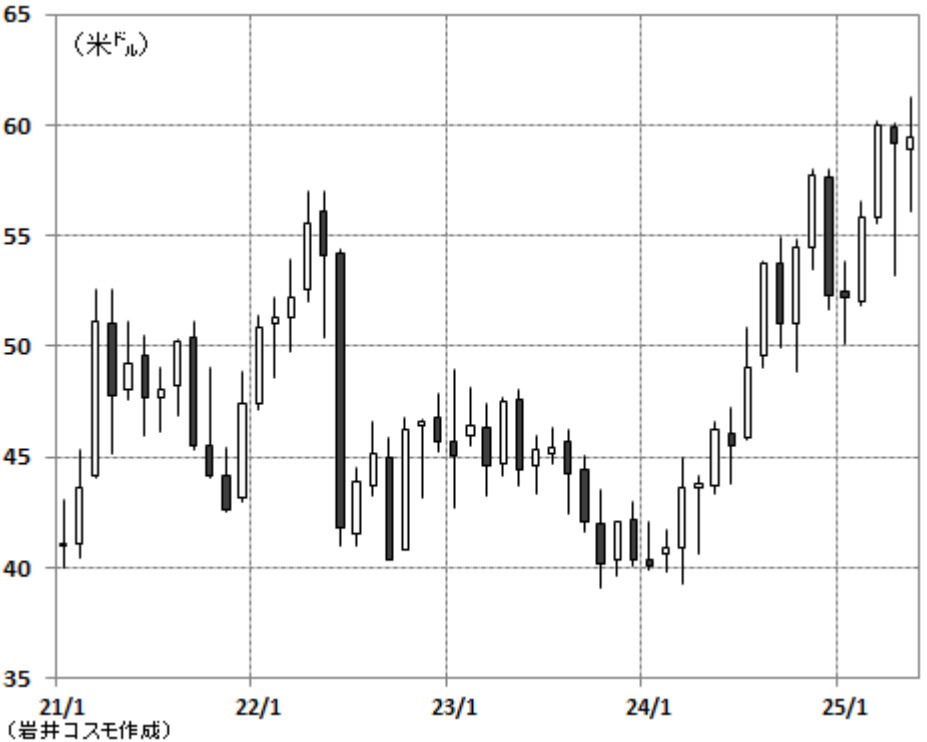
会 社 概 要

1919年設立の米国たばこ大手。21歳以上の米国の成人を対象にたばこを製造・販売、醸造会社等にも出資。2003年にフィリップ・モリスから現社名に変更。2007年に食品の旧クラフトフーズ、2008年に海外たばこのフィリップ・モリス・インターナショナルを分離。2022年に日本のJTとは加熱式たばこの合併設立(75%出資)。23年6月に電子たばこの新興企業「NJOY」を買収。従業員は約6,200人(24年末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

□ **中期経営計画**：より害の少ないたばこ製品への移行を目指し、無煙たばこの販売数量を22年比最低35%増加させる考え。調整後1株利益や1株配当金を2028年までの年平均成長率の目標を「1桁台半ば」を掲げる。1-3月期の株主還元は配当支払い17億ドル・自社株買い3.3億ドルと積極的、同時に健全財務の維持にも努めた。

□ **高い配当利回り**：健康志向を背景にした紙巻たばこの販売数量の減少を値上げで補っている事、健康被害・受動喫煙問題等で複数の訴訟を抱える事、ESG投資家の忌避等から株価収益率が低く、相対的な配当利回りが高い。配当利回りの高い銘柄は、一般的に債券代替投資の対象として金利低下で魅力が高める特徴がある。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	59.48 (05/29)
52週高値(日付)	61.26 (25/05/07)
52週安値(日付)	43.835 (24/06/14)
時 価 総 額	1,002億 ^{ドル} 14兆4,486億円
株価変化率(%)	3.0 (過去6ヶ月間) 31.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.1 (倍)
株価売上高比率	5.0 (倍)
PBR	— (倍)
税前提当利回り(%)	6.86 (直近年率)
配当成長率(%)	4.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	0.43 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	24,483	-2	11,547	-3	8,130	41	4.57	3.84
2024/12	24,018	-2	11,241	-3	11,264	39	6.54	4.00
四半期業績								
2024/Q1	5,576	—	2,674	—	2,129	—	1.21	0.98
2025/Q1	5,259	-6	1,788	-33	1,077	-49	0.63	1.02

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

天然ガスタービン等を主力とする電力設備世界大手、「エネルギー転換の巨人」との異名も

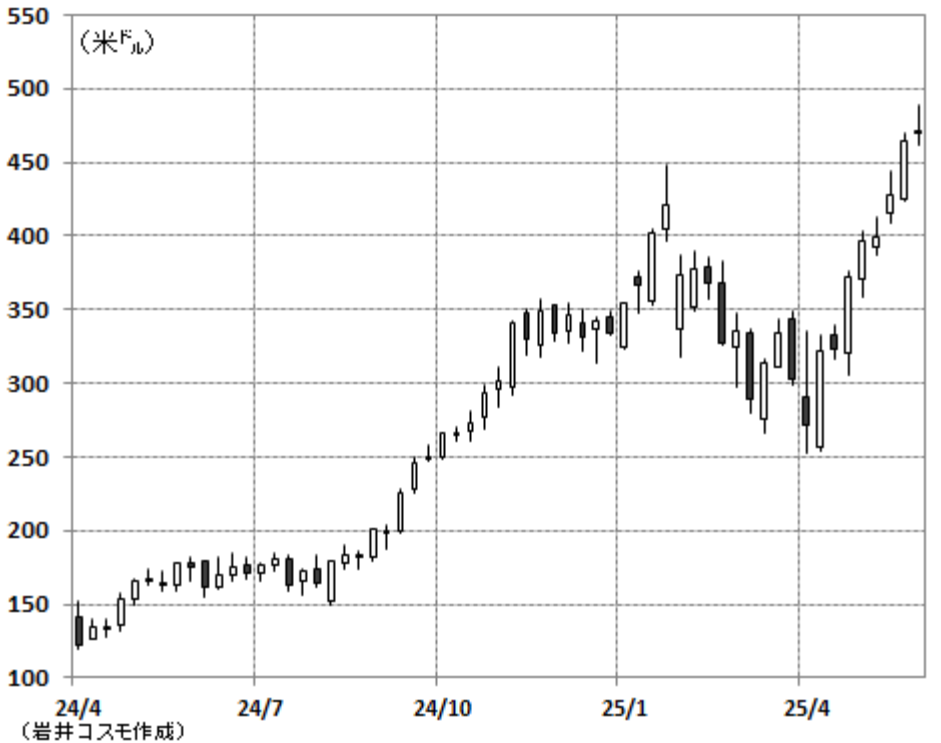
会 社 概 要

トマス・エジソン氏による初の商用発電所建設(1882年)以来、長く発電設備を提供してきた世界的企業。ゼネラル・エレクトリックの組織再編に伴い、24年4月に分社手続きを完了。発電設備以外に送電/変電/蓄電等の電化関連も製造。再生可能エネルギー分野ではガス/原子力/水力/蒸気発電設備、また風力タービンやブレード等まで取り扱う。100カ国超で製品展開、社員数は約75,000名(24年末)。

注 目 ポ イ ン ト

□「**エネルギー転換の巨人**」: GEベルノバは発電から送配電、再生可能エネルギー分野までエネルギー転換に必要な要素を幅広くカバーし、グローバル展開できる規模と技術力を持つ企業として「エネルギー転換の巨人」と評価する声も聞かれる。

□**業績好調**: 24年売上高全体の54%が製品売上、46%がサービス収入の構成で事業の安定性は比較的高い。電力会社と長期契約を結び、事業基盤を確立、特に電力事業売上の7割が保守・点検等のサービス収入を占め、現金収支の黒字のほとんどを稼ぐ。発電源別では天然ガス関連が多い。また電化事業は高成長で収益改善が進行中。電力需要の急増でガスタービンの納期が大幅に延びている。



株 価 チ ャ ー ト (分離上場来・週足)

株価データ	
株 価(米ドル)	471.17 (05/29)
52週高値(日付)	488.8 (25/05/29)
52週安値(日付)	150.11 (24/08/05)
時 価 総 額	1,286億ドル 18兆5,452億円
株価変化率(%)	41.0 (過去6ヶ月間) 165.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	72.8 (倍)
株価売上高比率	3.6 (倍)
PBR	14.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.21 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.0 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	33,239	12	-923	赤継	-438	赤継	-1.60	0.00
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.25
四半期業績								
2024/Q1	7,260	—	-289	—	-130	—	-0.47	0.00
2025/Q1	8,032	11	43	黒転	254	黒転	0.91	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

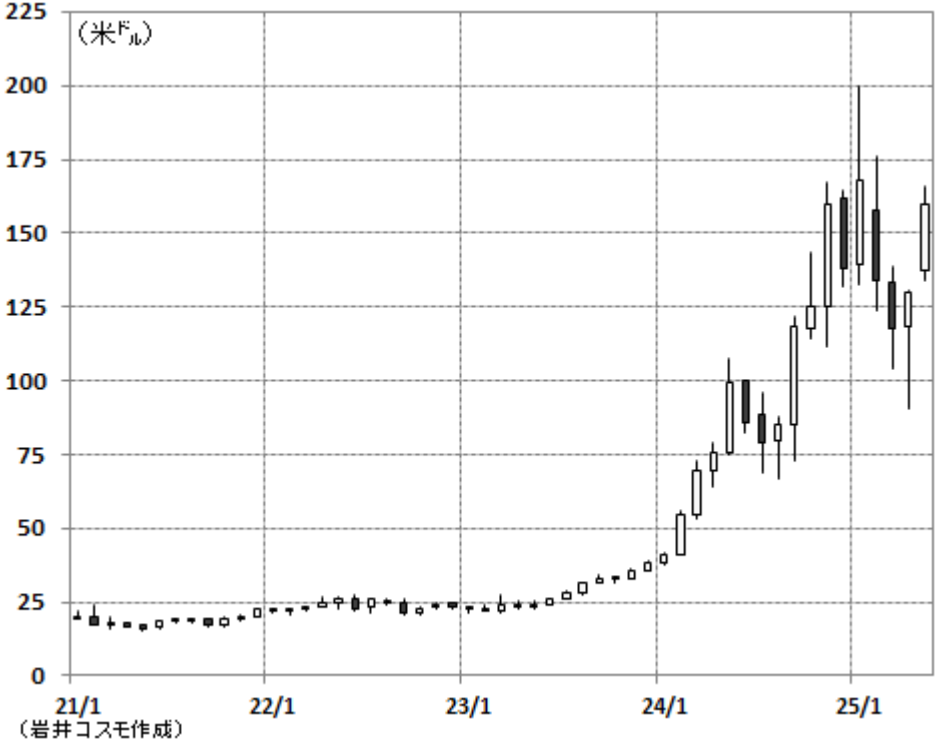
会 社 概 要

テキサス州拠点のエネルギー会社。子会社を通じて電力・天然ガスの小売販売に従事。ほか原子力・天然ガス・太陽光等の発電事業も手がける。全米20州とコロンビア特別区でサービスを提供。小売事業は子会社であるTXUエナジーなど5社がテキサス州中心に展開。一方、発電事業はビストラが天然ガス/原子力/再生可能エネルギー等の発電施設を運営、最終的にゼロカーボン発電を目指す。S&P500指数構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**M&Aで原子力発電所取得**：24年3月に同業のエネルギー・ハーバーを買収し、米東部の原発施設3カ所(発電能力約4,000メガワット相当)を取得。独立系電力会社の原子力発電所保有数でコンステレーション・エナジーに次ぐ第2位となり、発電能力に占める原子力の割合が高まった。他、原発以外では天然ガスによる火力発電能力を増強中で、27年にテキサス州の火力発電所を石炭から天然ガスに転換する予定。

□**米国で注目される原発**：AI利用増によるデータセンターの電力需要の高まり、温暖化ガスを排出しない、24時間365日、安定的に電力供給できる「ベースロード電源」としての原子力発電が見直されている。5月23日にトランプ氏は原発建設を加速させる大統領令に署名した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	159.73 (05/29)
52週高値(日付)	199.82 (25/01/23)
52週安値(日付)	66.78 (24/08/05)
時 価 総 額	542億ドル 7兆8,164億円
株価変化率(%)	-0.1 (過去6ヶ月間) 54.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.5 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	23.1 (倍)
税前配当利回り(%)	0.56 (直近年率)
配当成長率(%)	5.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	80.8 (%)
株式ベータ	1.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	14,779	8	2,661	黒転	1,343	黒転	3.58	0.8210
2024/12	17,224	17	4,081	53	2,467	84	7.00	0.8740

四半期業績								
2024/Q1	3,054	—	86	—	-84	—	-0.24	0.2150
2025/Q1	3,933	29	-120	赤転	-317	赤継	-0.93	0.2235

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。